

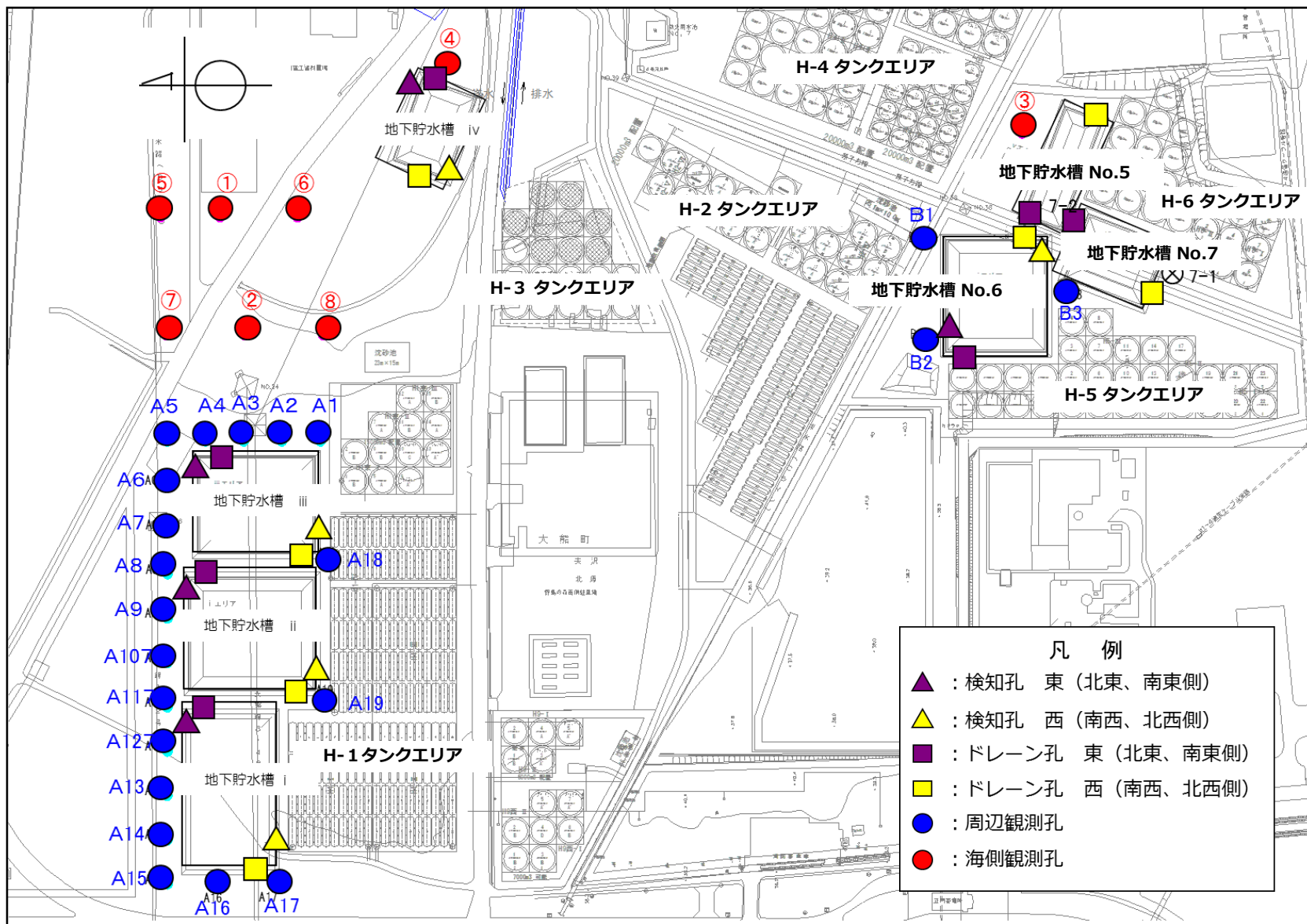
（３）地下貯水槽の状況

2017年4月28日

TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社

1-1. 地下貯水槽の位置



1-2. 地下貯水槽の主要諸元

(数値は概略値)

槽№	縦 [m]	横 [m]	深さ [m]	表面面積 [m ²]	貯留容量 [m ³]	最大貯留実績※1 [m ³]	現貯留量※1 [m ³]	推定漏えい 量※3[L]	貯留水種類
№1	74	40	5	3,000	13,000	6,200	—※2	80	RO濃縮塩水 (№2からの移送水)
№2	60	53	6	3,200	14,000	7,100	300	310	RO濃縮塩水
№3	56	45	6	2,500	11,000	8,400	150	20	RO濃縮塩水
№4	40	25	6	1,000	4,000	3,100	—※2	—	5/6号機低レベル滞留水 堰内たまり水
№5	54	15	5	800	2,000	—	—※2	—	—
№6	52	47	6	2,400	10,000	8,100	120	—	RO濃縮塩水 (鋼製タンクへの移送時)
№7	38	30	6	1,100	4,000	2,200	90	—	堰内たまり水

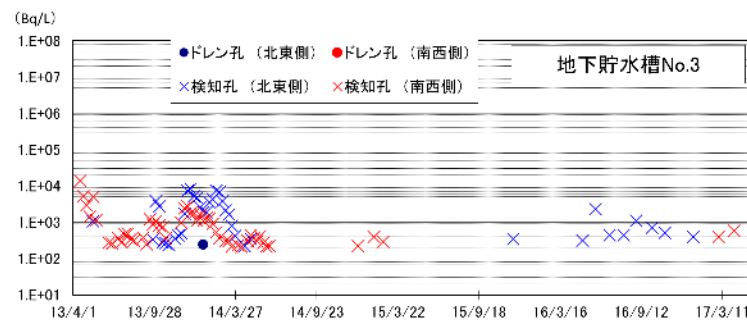
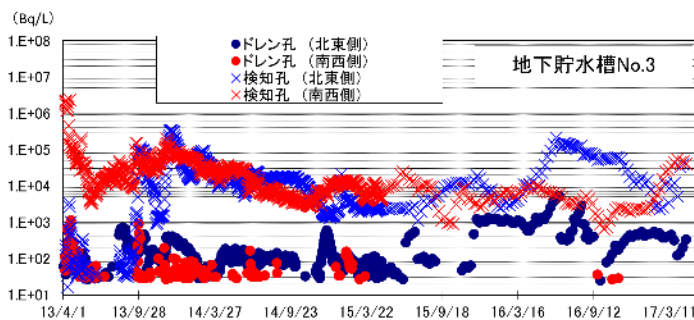
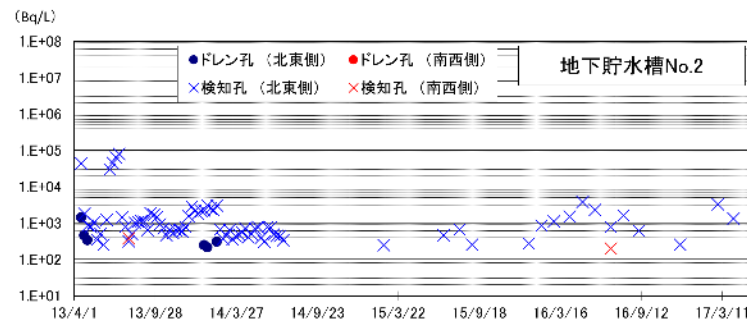
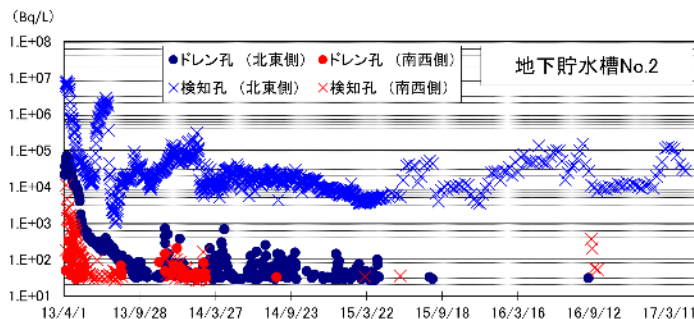
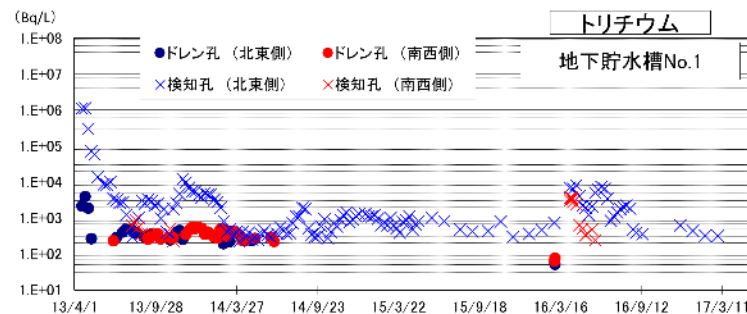
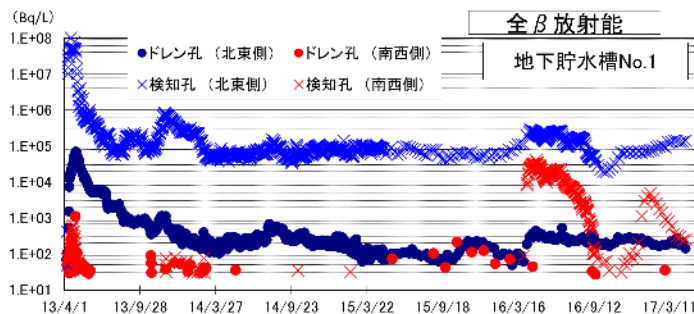
※1：水位計指示値からの推定値

※2：水位計の計測限界水深未満（残水あり）

※3：希釈率法による推定値

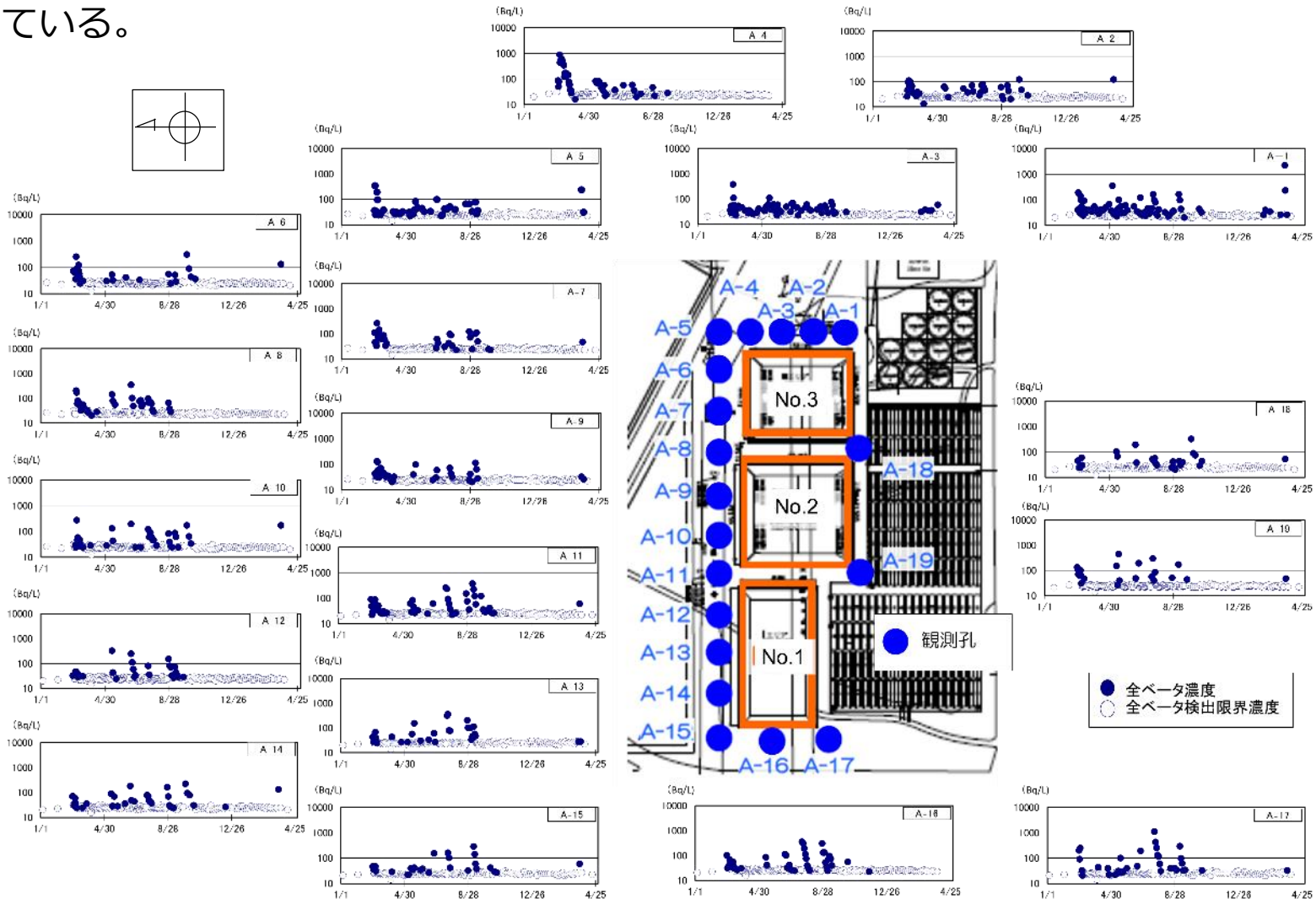
2-1. 地下貯水槽No.1~3モニタリング状況(ドレン孔、検知孔)

- 2013年に漏えいがあった地下貯水槽No.1~3の、ドレン孔、検知孔では、現在も全ベータ、トリチウムが検出されているが、水抜きを実施済み。



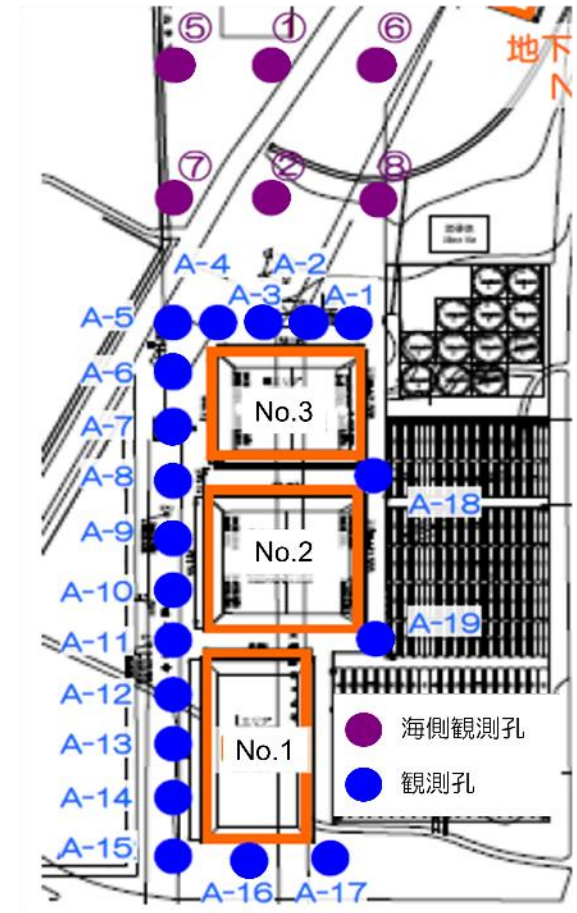
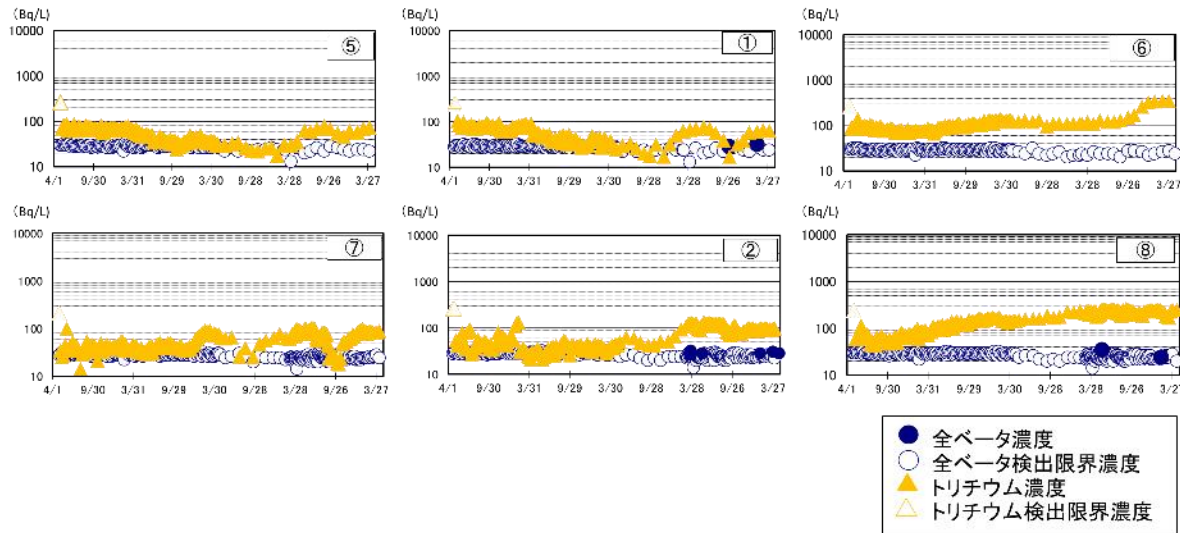
2-2. 地下貯水槽No.1~3モニタリング状況(周辺観測孔)

- 地下貯水槽No.1~3の周辺観測孔では、昨年3月以降、全ベータ濃度の上昇が繰り返し見られたが、上昇は一時的ですぐに濃度は低下。昨年秋以降は上昇もほとんど無くなっている。



2-3. 地下貯水槽No.1~3モニタリング状況(海側観測孔)

- 地下貯水槽No.1~3の海側観測孔では、全ベータ濃度の上昇は見られていない。



3. 地下貯水槽No. 4モニタリング結果

- 地下貯水槽No. 4の東に位置する海側観測孔④で、4月24日に採水した地下水から全ベータ放射能濃度を検出。
- 翌日の再サンプリングでは不検出であった。

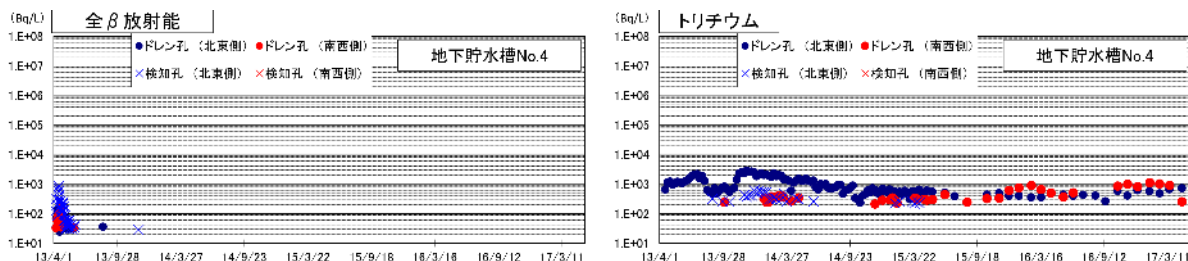
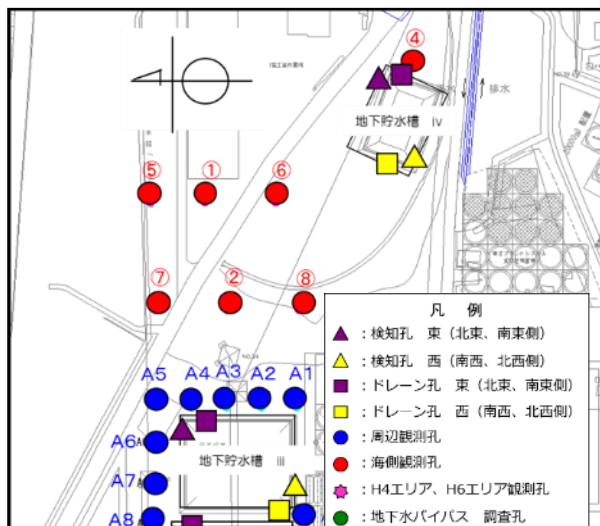


図3-2 地下貯水槽No.4 ドレン孔、検知孔モニタリング結果

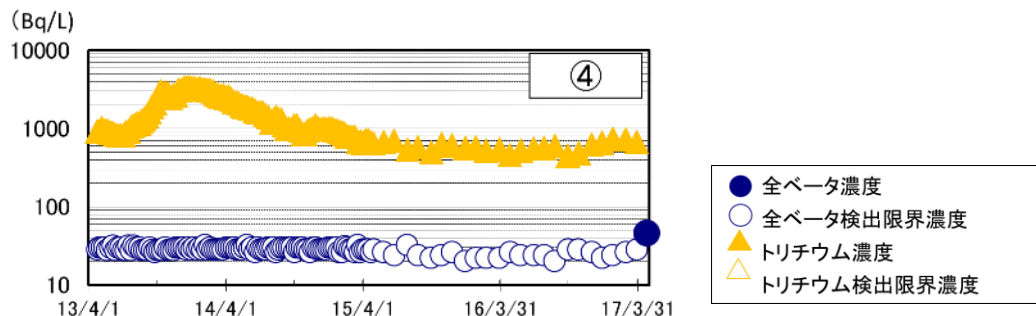


図3-3 地下貯水槽 海側観測孔④モニタリング結果

4-1. 地下貯水槽No.5~7モニタリング結果(検知孔、ドレン孔)

- No.5、7のドレン孔、検知孔は、全ベータ、トリチウムともにほとんど上昇が見られない。
- No.6は、ドレン孔のトリチウムに若干上昇がみられるが、検知孔は不検出。

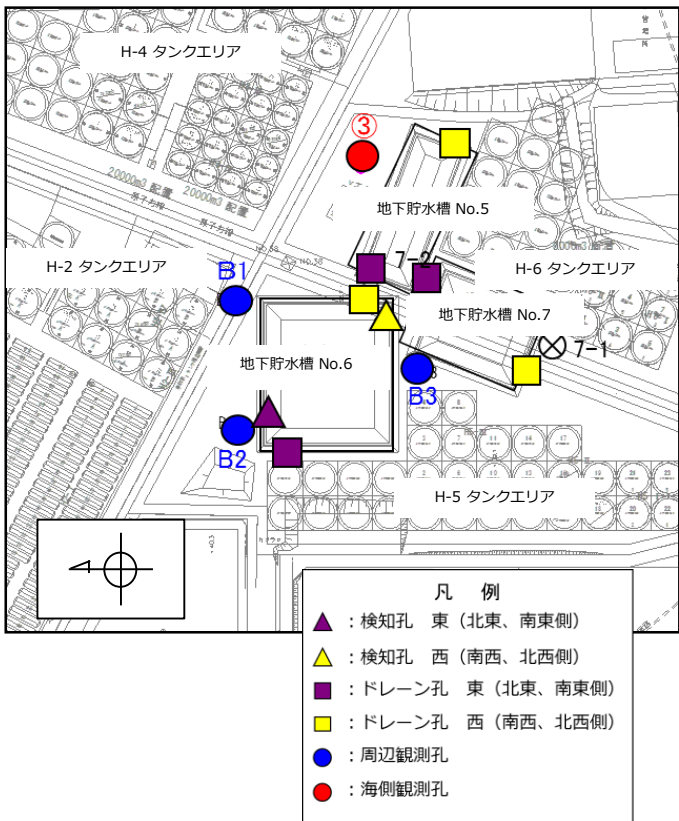


図4-1 地下貯水槽No.5~7に係わるモニタリング地点

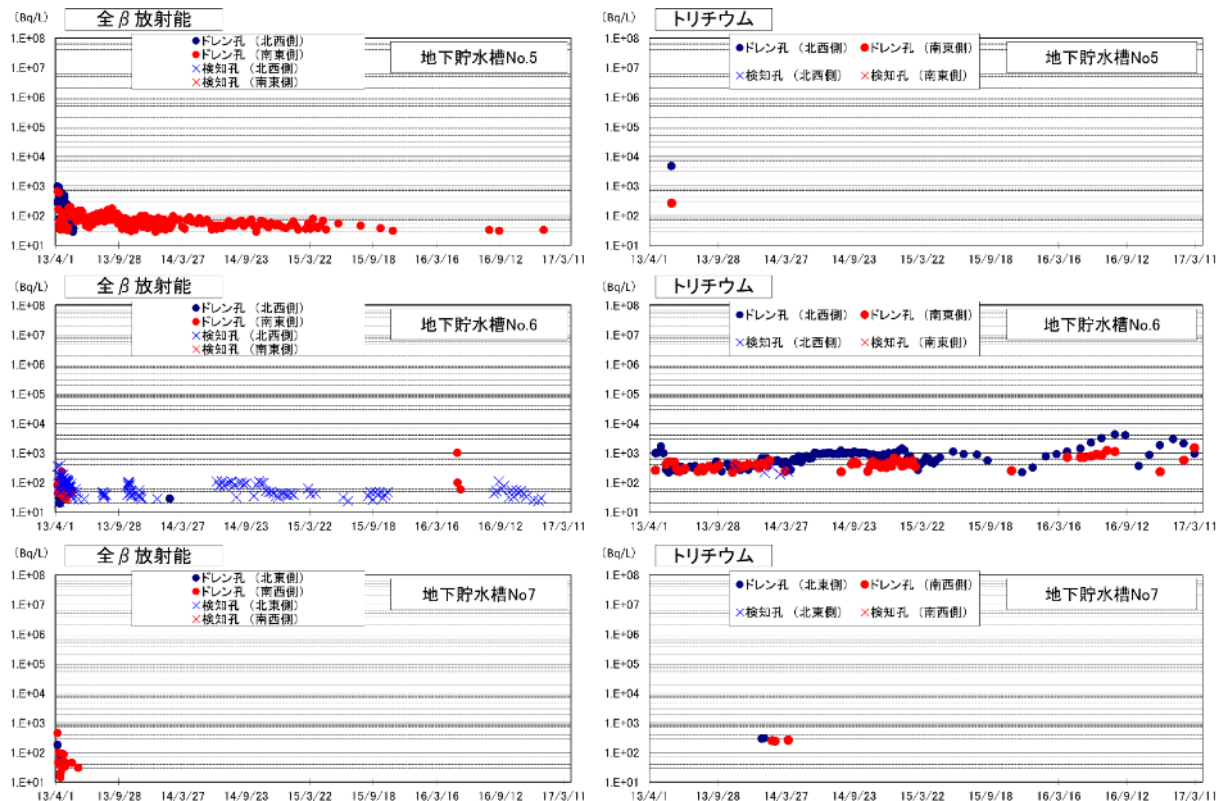


図4-2 地下貯水槽No.5~7 検知孔、ドレン孔モニタリング結果

4-2. 地下貯水槽No.5~7モニタリング結果(周辺観測孔、海側観測孔)

- 地下貯水槽No. 6 の周辺観測孔で、4月21日に採水した地下水で全ベータ放射能濃度を検出。
- 翌日再サンプリングを実施したところ、全ての観測孔で濃度が低下。
- 東に位置する海側観測孔③の全ベータ濃度は、上昇が見られていない。

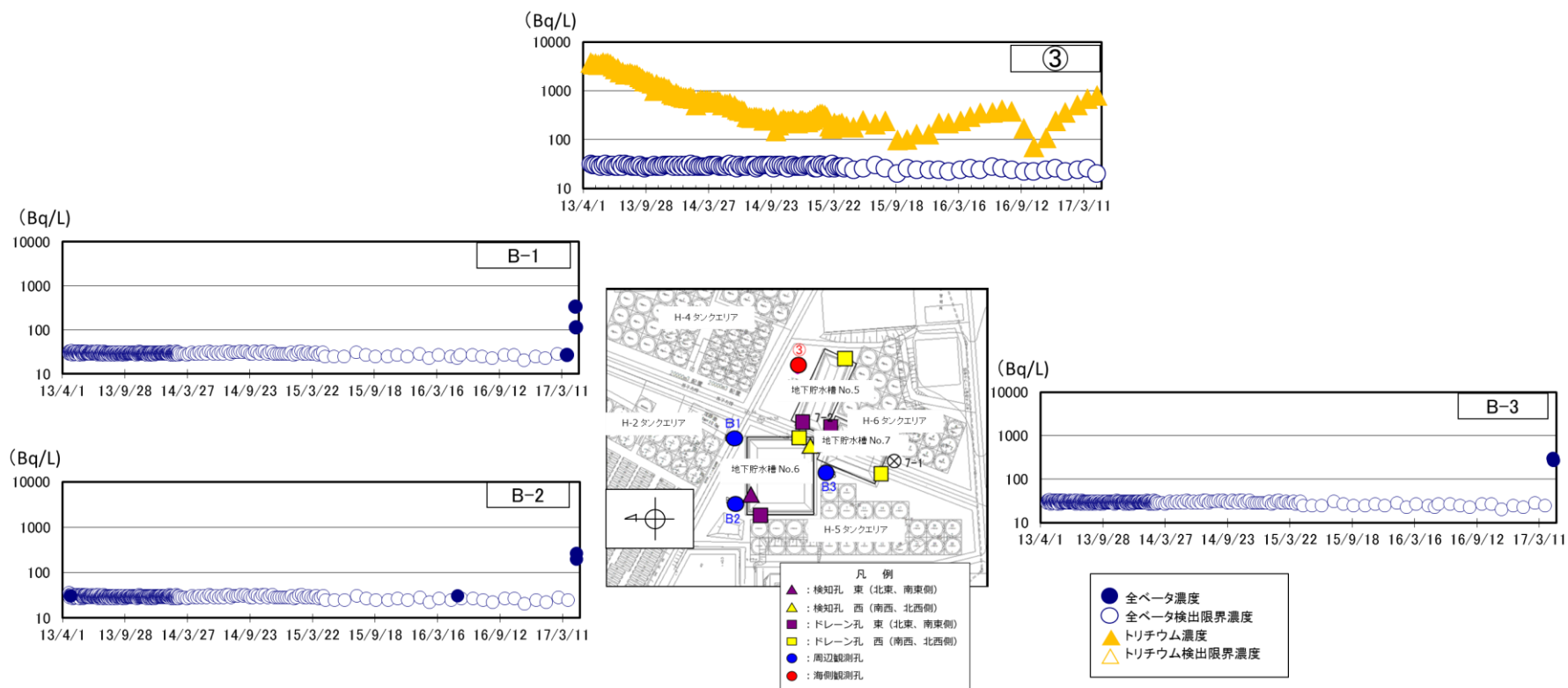


図2 地下貯水槽No.5~7に係わるモニタリング結果

5. No.5地下貯水槽の解体、撤去について

- 貯留タンクのエリア拡張を目的に、現在、使用していないNo.5地下貯水槽を解体、撤去中。なお、発生する瓦礫類は、一時保管エリア（C, N, O, P1）へ搬入

◆ No.5地下貯水槽の基本情報

- ・ 容 量 : 約 2,000m³
- ・ 規 模 : (縦) 54m× (横) 15m× (深さ) 5m [地上部]
- ・ 使用履歴 : 未使用 (水張り試験時の試験用水 (ろ過水) の残水がある)

◆ 内部環境 (マンホール内よりプラスチック貯留材の表面を測定)

- ・ 表面線量当量率 (mSv/h) - γ : 0.002, $\gamma + \beta$: 0.002 [2016.10.24]
- ・ 表面汚染密度*1 (Bq/cm²) - 検出限界値未満 (検出限界値 : 0.261) [2016.10.24]

*1 スミヤ法 (スミヤろ紙の表面をGM汚染サーベイメータにより測定) により測定

◆ 計画工程

年 月	2017												2018		
	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
準備工	■														
解体・撤去		■													
地盤改良・基礎					■										
タンク設置										■					

(参考1)No.5 地下貯水槽の撤去方法

